

昆虫の自然免疫と寄生蜂による寄生戦略の解明

研究キーワード



- 応用動物昆虫学（昆虫生理学）
生体防御 寄生蜂に関する研究
- 生物教育学
昆虫の血球の生体防御に関する教材の提供、生物教育学会実験サポーター（小学校～社会人）
- 理科教育学
小学校理科出前授業、昆虫展、環境教育

連携アピール



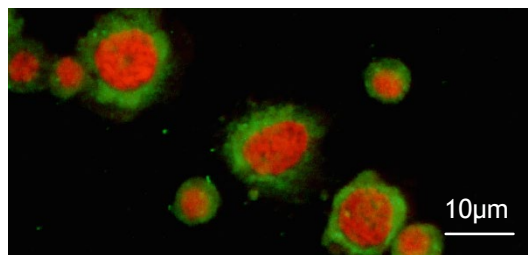
- 理科教育分野については、昆虫を使った生理・生態系の展示説明、生物教育分野に関しては昆虫を使った実験・観察（出前授業も可）、応用動物昆虫分野では昆虫の免疫や寄生蜂を使った共同研究が可能。

本研究の概要

- 昆虫は脊椎動物の生体防御と共通する自然免疫を持っています。自然免疫とは誰しも生まれつき持っている免疫システムで、体内に侵入してきた異物を食作用などで排除します。
- 本研究の目的はチョウ目ヤガ科のアワヨトウを用いた、自然免疫の研究からヒトとの共通性を見出すことです。
- また、寄生蜂は寄主(宿主)の生体防御を巧みな戦略で回避して、寄生を成功させます。その寄生戦略を探り、農業における生物防除技術への応用を目指します。



アワヨトウ幼虫に産卵するカリヤサムライコマユバチ成虫



アワヨトウ幼虫の血球（核：PI（赤）、anti C-type lectin My-IML antibody（緑））

研究者



中松 豊（なかもつ ゆたか）
教育学部教育学科 教授

